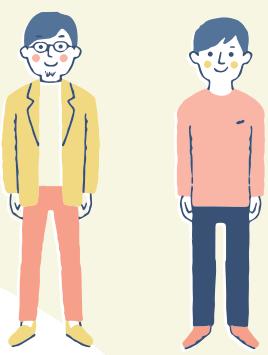




大垣市



皆さんにつなぐ
次世代を担う
未来づくり



大垣市 未来ビジョン

Ogaki City Future Vision

学生版



皆さんの住む大垣市では、理想とする大垣市の姿を想定し、それを実現するための具体的な方法を考え、まとめました。それが「大垣市未来ビジョン」です。

描く未来は2047年。

皆さんが大人になり活躍している時代です。
計画の成功には皆さんの協力が必須。
ぜひ中身を理解して、理想の未来に向かって
一歩ずつ、ともに歩みましょう！

INDEX

大垣市の「今」	2
大垣市をとりまく課題	3
「大垣市未来ビジョン」とは？	4
「未来の大垣市のあるべき姿」は？	5
第2期基本計画の取り組みは？	6
SDGsでつながるまちづくりとは？	8

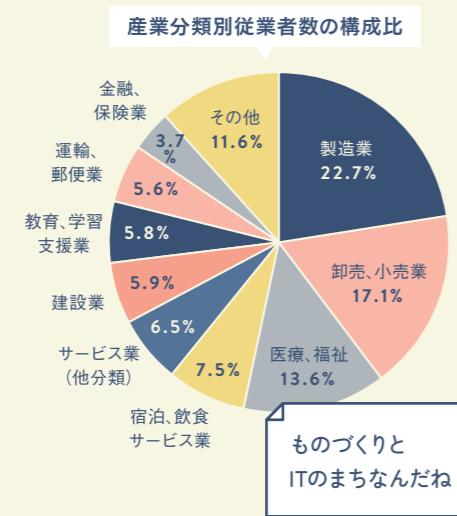
私たちのまち大垣市の「今」を見つめてみましょう



「製造業」を仕事にする人が最多

電子部品や自動車部品などのものづくりに携わる人が最も多く、物を販売する卸売業・小売業、医療・福祉と続きます。また、市の北東部にある「ソフトピアジャパン」にはIT関連企業が集まり、中部圏のIT拠点として成長を続けています。

資料: 総務省「令和3年経済センサス活動調査(速報集計)」



ものづくり
ITのまちなんだね

清らかな水に恵まれた自然豊かなまち

清らかで豊富な湧き水に恵まれた「水の都」。市内のあちこちには湧き水スポットが多数あります。きれいな水にしかずまない小魚ハリヨも生息しています。



生きる上で欠かせない水がきれいなのはうれしいね

CULTURE 文化

歴史と文化のまち。 伝統的なお祭りも

江戸時代に活躍した有名な俳人・松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終えたとされる大垣市。天下分け目、関ヶ原の戦いで石田三成の本拠地となった大垣城や、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜でつくったと伝えられる墨俣一夜城もあります。さらには300年以上続く祭りが行われるなど、歴史と文化が根付いています。



「大垣祭の転行事」はユネスコ無形文化遺産に登録されているよ

日本の真ん中、岐阜県大垣市。
良質な水・ものづくり・IT・文化のまちとして知られています



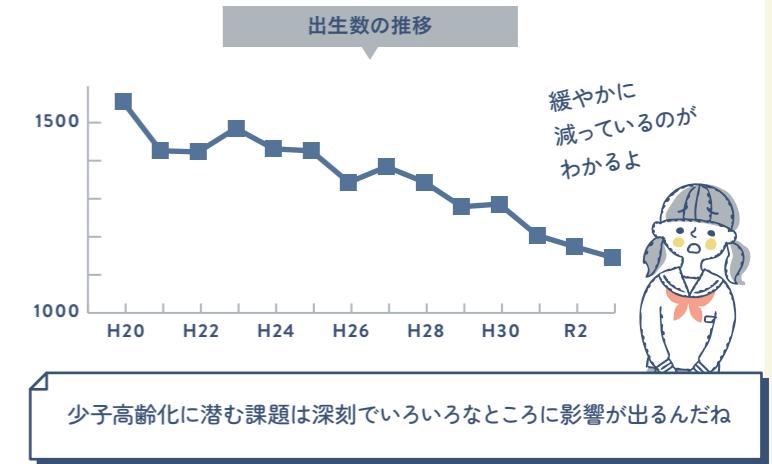
「未来」に向かう大垣市をとりまく課題を確認しましょう



課題

人口減少・少子高齢化による さまざまな課題

日本全体における少子高齢化の問題が深刻ですが、大垣市も、2010年に161,160人だった人口が2050年には約3万人減少し、13万人程度になると予測されています。ただ人口が減るだけでなく、生産活動の中心となる15~64歳の割合は減って65歳以上の老人人口が増えるので、社会経済に大きく影響します。



課題

エネルギー確保をしながら環境保全も必要に

私たちが生きていく上で欠かせない、電気やガスなどエネルギーの確保は、環境の汚染・破壊問題となり合わせです。特に二酸化炭素排出量の増加に伴う地球温暖化は世界的な大問題。二酸化炭素を出さないエネルギーへの転換を進めながら節電・省エネルギーを呼びかけるとともに、大垣市の美しい水環境や、緑の里山など自然環境を守る取り組みも必要です。さらには、リサイクルを促進してゴミを減らしながら、限られた資源を活用する対策も求められています。

課題

予期せぬ自然災害の発生

西日本太平洋側の広い範囲で起こるとされる南海トラフ地震。今後30年内に70~80%の可能性で起こり、大垣市は強い揺れと大きな被害が予想されています。被害を少しでも少なくするには、防災・減災対策を強くし、一人ひとりの意識を高め、市民と行政が協力することが重要です。



巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況なんだね

課題

「人に優しいデジタル環境づくり」の推進

デジタル技術が急速な発展を続ける中、誰もがデジタル技術の恩恵を受けられる環境づくりが必要です。中部のIT拠点である「ソフトピアジャパン」のあるまちとして、より便利で効率的な行政サービスとともに、未来に向けた新たな発想やデジタル技術を積極的に利活用し、社会全体がデジタル化された「スマートシティ大垣づくり」が求められています。



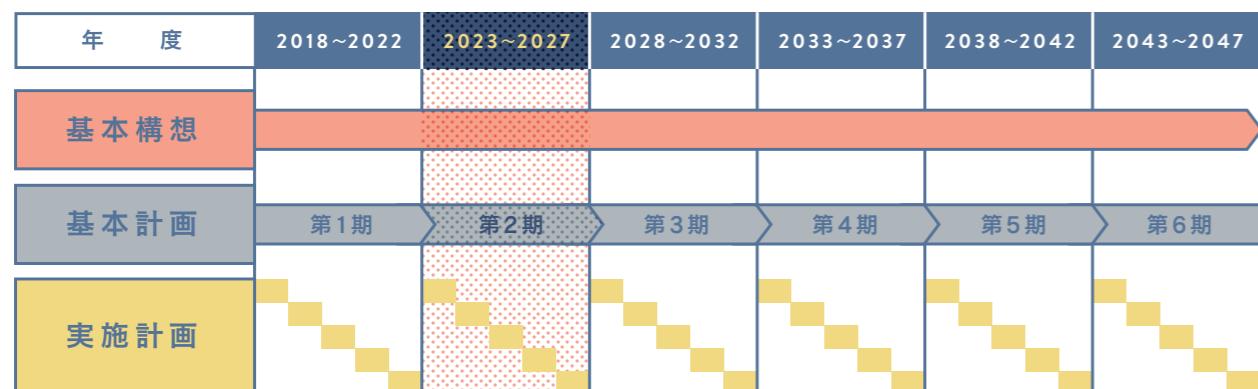
少子高齢化、環境問題、自然災害、IT化の進展などの課題をふまえて「未来ビジョン」を策定しました



「大垣市未来ビジョン」とは?

計画 30年後、理想の大垣市であるために取り組むことを段階的にまとめたもの

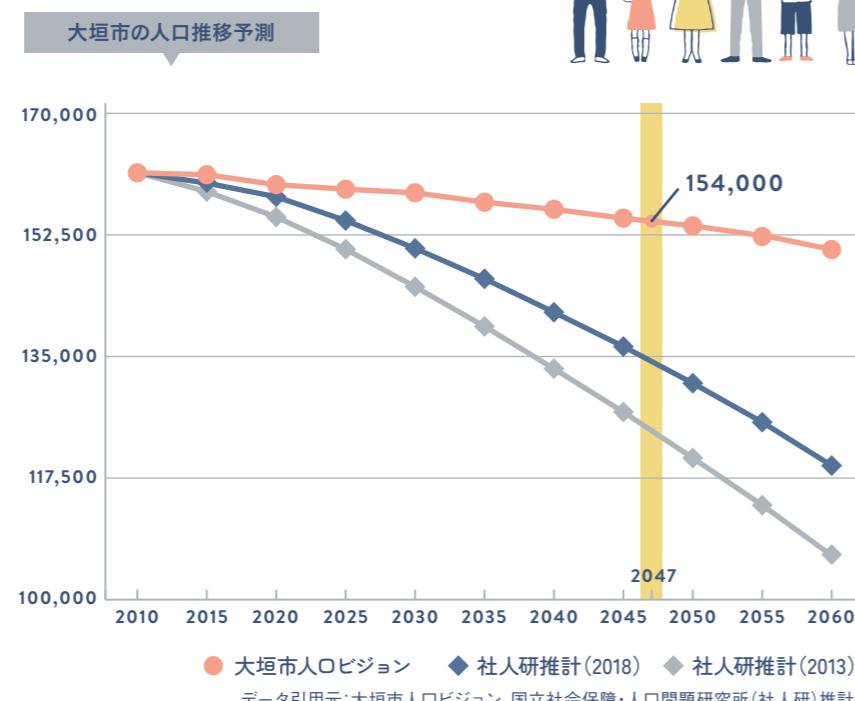
大垣市のめざす姿を決め、それを実現するための具体的な方法をまとめたものです。まちづくりの方針を示す「基本構想」、実現に向けて何をするかをジャンル別に整理した「基本計画」、具体的に何をしていくかをまとめた「実施計画」で構成されています。基本構想は2018年度から2047年度の30年という長いスパンで考えられており、基本計画はその30年を6期に分けて5年ごとに、実施計画はさらに細かく毎年度策定していきます。



目標を数字で表すと、2047年度の人口15万人をキープ

少子高齢化が深刻化する中、大垣市では2015年度「大垣市人口ビジョン」で、2060年の目標人口を15万人とし、市民の皆さんと対策に取り組んだ結果、人口減少が当初の予想より緩やかになったのです。そこで、「大垣市未来ビジョン」のゴールである2047年度の人口目標は15万4千人と設定しました。

予想より人口が減らないように目標を立てて対策を考えているんだね!



大垣市のあるべき姿を示し、実現するための取り組みをまとめた
まちづくりの基本計画が「大垣市未来ビジョン」です



6~10年目にあたる現在は「第2期基本計画」を実行しているよ

「未来の大垣市のあるべき姿」はどんなもの?

目標 市民と行政が力をあわせて希望と笑顔のあふれるまちをめざします

では、具体的に「大垣市未来ビジョン」で描かれている未来の大垣市の理想とは? すばり「みんなで創る希望あふれる産業文化都市」です。美しい自然に囲まれた暮らしやすい都市、西美濃地域の経済・文化の中心都市である大垣市。学生の皆さんが大人になるときまで、希望と笑顔があふれるまちであり続けたい。市民と行政が力をあわせて、理想の姿実現をめざします。

目標 未来のピースがそろうことで実現します

「みんなで創る希望あふれる産業文化都市」は、以下の「未来のピース」が6つそろうと、パズルのように完成するイメージです。

Piece 1 みんなが住みやすいまち
(生活しやすい設備や施設の整備)

- ・住みやすい地域
- ・魅力的な都心環境
- ・やすらぎの空間とまちなみ
- ・快適な上下水道
- ・便利な交通網
- ・人にやさしい道路
- ・情報通信がくらしを変える



Piece 2 みんなが元気なまち
(産業や観光資源の充実)

- ・産業の振興
- ・地域の資源を生かす
- ・行ってみたくなるまち



2047年の岐阜県大垣市
みんなで創る
希望あふれる
産業文化都市

Piece 3

みんなが安心するまち
(生活環境の向上)

- ・災害に強いまち
- ・安心・安全なまち
- ・自然とともにくらす
- ・良好な環境の保全



Piece 4

みんながあつたかいまち
(健康・福祉・人権への配慮)

- ・健康を守る医療
- ・健康づくりの意識向上
- ・つながり、支えあう
- ・多文化・多世代でつながる



Piece 5

みんなが成長するまち
(子育て・教育・学びの場の充実)

- ・子育てするならこのまち
- ・学びが大切にされるまち
- ・人生に彩をもたらす
- ・郷土・文化を愛する



Piece 6

みんなが主役のまち
(市民参加やコミュニティの拡大)

- ・市民一人ひとりが主役
- ・地域コミュニティ
- ・まちとまちをつなぐ



「みんなで創る希望あふれる産業文化都市」。

構成する6ピースがすべてそろうことで完成します

市民と行政が協力することが大事だね



第2期基本計画の取り組みは?



「選ばれるまち大垣」創造プロジェクト

2018～2022年度の第1期を進める中で、新型コロナウイルス感染症のまん延やIT技術の発展、地球全体で深刻化する気候変動など、状況は刻々と変化しています。2023年度からの第2期基本計画では、こうした時代の変化に対応できるよう、新たにDX（デジタル技術の活用）やカーボンニュートラル（脱炭素）、SDGs（持続可能な開発目標）などの考え方を加えて策定。市民や市内企業から「住んでよかった」「いつまでも事業を続けたい」と思ってもらえるまちであり続けるとともに、他の地域からも「住んでみたい」「起業してみたい」と思われる「選ばれるまち大垣」をめざすことに重点を置き、3つの観点で具体化しました。

ほかにも35分野・88施策からなる
分野別計画で総合的・計画的に
進めるよ



「選ばれるまち大垣」創造プロジェクト① 安全で安心できるまちづくり



安心して安全にくらせるまちになる
取り組みだよ

□自然災害から市民を守る備え

排水機場整備などの治水対策、急傾斜地崩壊対策、
デジタル技術なども活用した防災体制の強化、消防体制の充実

□生活基盤の整備

道路や上下水道施設の耐震化・長寿命化、公共交通の促進、
防犯対策、交通安全対策、空家対策

□医療・福祉体制の充実

地域住民同士が支えあう体制や地域包括ケアシステム（※1）の推進、
市民病院とかかりつけ医が連携した医療体制の充実、ヘルスデータの活用など

□生活環境保全

脱炭素化による地球環境保全、SDGsの取り組み、水資源の活用

※1 高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしつづけることができるよう
地域全体で支援する体制



「選ばれるまち大垣」創造プロジェクト② 希望あふれる活力あるまちづくり

□まち全体の活性化

大垣公園と周辺地域の再整備、中心市街地の活性化、
東海環状自動車道大垣西インターチェンジ周辺の土地活用、
商工業や農林業の振興、企業誘致の促進など

希望をもって
笑顔でくらせる
まちづくりだね



□スマートシティの実現

デジタル技術活用

□歴史や文化の有効活用

歴史文化資源の活用による観光事業の活性化、スポーツや芸術文化を通じて
自己実現や生きがいを実感できる活動を促進

□市民との協働

「飛び出す市役所（※2）」の推進、コミュニティ拠点となる地区センター等の整備、市民活動団体等への支援など

「選ばれるまち大垣」創造プロジェクト③ 子育て日本一を実感できるまちづくり

□子育て環境の整備

子ども医療費や保育料など経済的支援、母子保健サービスの充実、保育施設の整備など

日本一子育ての
しやすいまちを
めざすよ



□移住定住の促進

子育てのしやすさなど市の魅力を全国に発信

□「知・徳・体」の調和のとれた子どもの育成

学校施設等の整備、上石津地域に義務教育学校開設、
ふるさと大垣科・英語教育・プログラミング教育などの推進

□デジタル人材の育成

「（仮称）デジタルひろば（※3）」の整備、こどもICT講座の充実など

□特別支援

ひまわり学園（※4）の整備、相談体制の充実など

※2 市役所等で実施している行政サービスを市民の
身近な場所で提供すること

※3 デジタルに様々な形で気軽に触れ楽しめる施設

※4 発達に弱さのある子どもが保護者と一緒に通園して
発達を促す早期療育を受ける施設





SDGsでつながるまちづくりとは?

市民と行政が力をあわせて持続可能なまちづくりを進めます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標)とは、国連サミットで採択された国際目標のこと。2030年までに、地球上の「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい世界をめざすべく、17のゴール・169のターゲットから構成されています。「大垣市未来ビジョン第2期基本計画」では、SDGsの目標達成に向け、施策ごとに主なゴールを明示しています。



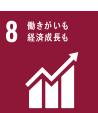
みんなが住みやすいまち (生活しやすい設備や施設の整備)

- ・できるだけ、徒歩や自転車、公共交通機関で移動しよう
- ・水や電気など、身の回りのインフラの仕組みに興味をもち、理解しよう
- ・住んでいるまちの未来を考えよう



みんなが元気なまち (産業や観光資源の充実)

- ・地域のイベントに参加しよう
- ・地元のお店を利用しよう
- ・県産材を使った商品を選ぼう



みんなが安心するまち (生活環境の向上)

- ・冷房時は28℃、暖房時は20℃に室温を保とう
- ・リデュース、リフューズ、リユース、リサイクルを心がけよう
- ・災害に備えて準備をしておこう



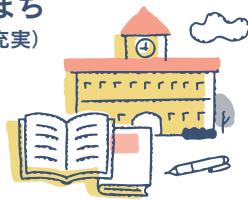
みんながあつたかいまち (健康・福祉・人権への配慮)

- ・バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠を心がけよう
- ・「男だから」「女だから」はなくそう
- ・いじめや差別をしない、させない



みんなが成長するまち (子育て・教育・学びの場の充実)

- ・自分らしく輝ける学習を始めよう
- ・図書館を利用しよう
- ・地域の歴史や文化を学ぼう



みんなが主役のまち (市民参加やコミュニティの拡大)

- ・地域の活動に参加しよう
- ・地域のためにできることを考えよう
- ・SDGsについて家族や友達と話してみよう



大垣市未来ビジョンの詳しい内容を知りたい方はこちら→ <https://www.city.ogaki.lg.jp/0000060227.html>



大垣市未来ビジョン Ogaki City Future Vision 学生版 令和5年4月